

[否定側立論]

厚生労働省は肯定側プランを採用するべきではなく、薬の通販規制を緩和すべきではない。

4班

ディベート 6.24.09

否定側論点

1. 利便性

離島住民, 障害者, 高齢者が規制によって大きな**不利益を被るとは考えにくい**

2. 安全性

対面販売により, **副作用や乱用の危険性が下がる**

3. 経済面

通信販売を規制することによるネット業界の売上下落は微々たるもので, むしろ**雇用が増加**する可能性大

そもそも規制に誰が賛成？誰が反対？

- **賛成側(PCM否定側)**

厚労省，日本薬剤師会，日本チェーンドラッグストア協会，**薬害オンブズパーソン協会**，**全国薬害被害者団体連絡協議会**，**全国消費者団体連絡会**

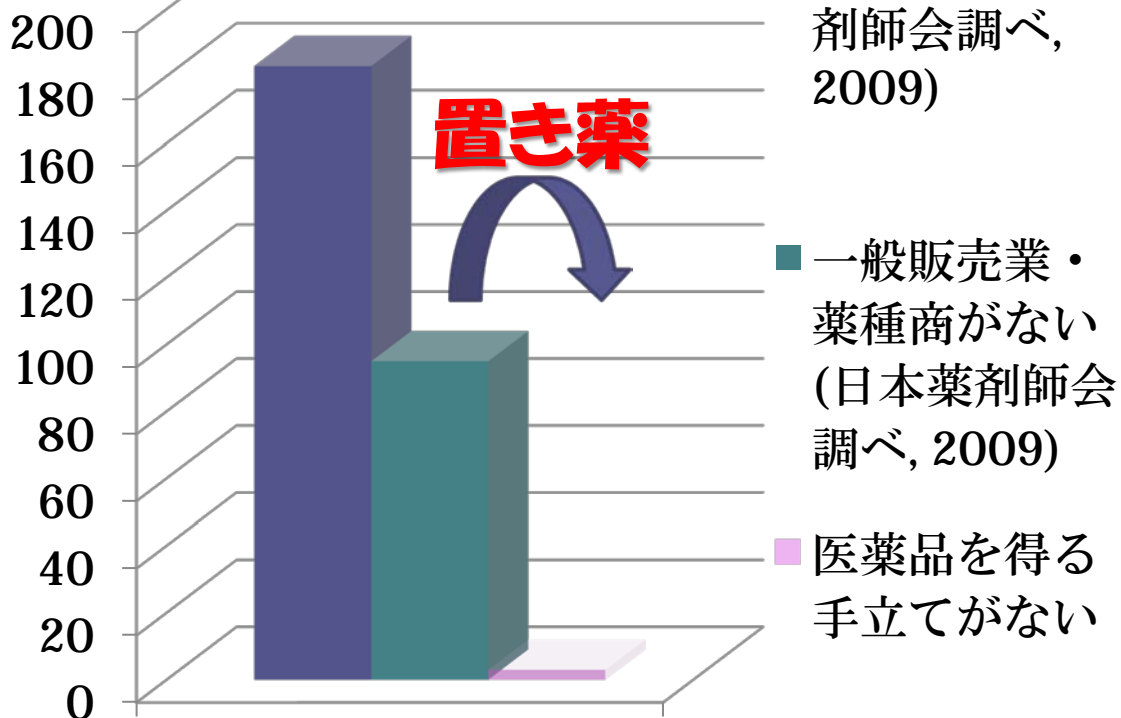
- **反対側(PCM肯定側)**

日本オンラインドラッグ協会，ケンコーコム，楽天，ヤフー，全国伝統薬連絡協議会，インターネット先進ユーザーの会

(高橋, 2009)

論点1: 利便性

町村数(全国)



- * 薬種商=登録販売者が営む店舗
置き薬=販売員が医薬品の入った箱を配置し、次回の訪問時に使用した分の代金を精算する仕組み

薬局も、それ以外の医薬品販売店舗もない町村が最も多い北海道でも



置き薬によりカバー可能(日本チェーンドラッグストア協会副会長発言)

論点2: 安全性

インターネットでの医薬品販売の現状

・買い手の個人認証が不可能

- 年齢不詳
- 性別不明
- 症状・病歴不明
- 医薬品の購入履歴不明



**大量購入
未成年による乱用
副作用**

**対面販売
には抑止力**

「薬というのは根本的にリスクのある存在」

(日本置き薬協会常任理事長発言)

**安全性より利便性が優先されるよう
な議論であってはならない！！**

論点3: 経済面

ネット通販が規制されるとネット業界は売上を落とす?

➡ 医薬品通販は「楽天グループの中でも、正直言いまして利益でいうと**1%もありません**」(三木谷社長)

通販に取って代わり

コンビニ業界, 家電量販店などが参入計画を進める

↓

**登録販売員(今年5万5千人)の雇用増加
値下げ競争も激化**

否定側論点

1. 利便性

離島住民、障害者、高齢者が規制によって大きな**不利益**を被るとは考えにくい

← **問題の過大評価**

2. 安全性

対面販売により、**副作用**や**乱用**の危険性が下がる

⇓ **否定側プランのメリット**

3. 経済面

通信販売を規制することによるネット業界の売上下落は微々たるもので、むしろ**雇用**が増加する可能性大



以上の理由から、肯定側プランは採用されるべきではない

よって、

**厚生労働省は、
薬の通販規制を
緩和すべきではない。**

双方の論点

	肯定側	否定側
利便性	離島住民，障害者，働く方には不便である	離島住民，障害者，高齢者は規制によって不利益を被らない
安全性	ネット販売は対面販売以上に安全性に気を使っている	対面販売により，副作用や乱用の危険性が下がる
経済面	新たな雇用形態を創出する	雇用が増加する可能性大 医薬品の値下げ競争も